

ふるさとの地名編

あゆみざき
歩崎

歩く観音様がいる御崎

かすみがうら市東部に「坂」があります。「坂」が、最初に記録に登場するのは、『常陸国風土記』です。風土記の茨城郡の条には「佐我流海」とみられ、この地名が奈良時代まで遡ることが分かります。以降、平安・中世にかけて「佐賀郷」「近世には「坂村」「明治・昭和時代に「佐賀村」となり、出島村誕生以降に現在の「坂」となりました。この「佐賀」「坂」という地名成立は、低湿地や坂そして逆さに川筋が流れるなどの意味があるとの諸説があります。

坂には、「歩崎観音」という寺院、そして名勝地があります。この「歩崎観音」には次のような伝説があります。

ある時、霞ヶ浦三又沖を船が通った際に、嵐となり船が転覆してしまいました。そこで、乗っていた人々は「南無観世音

現在のデータ
佐賀地区内にあり、住所大字は「坂」。
水族館・森林公園・郷土資料館などが立ち並ぶ観光地。



伝説の観音様が安置される長禅寺

美並小学校

『たくましく心豊かな美並っ子』

の育成を目指して



学校・家庭・地域
との連携を大切に

経験豊かな人材など多様な
教育資源の活用

PCA (Parents Citizen
Association)

専門的な技術や技能を生かし、習字や合唱、陸上の練習などで保護者や地域の方に授業や放課後の練習でお手伝いをしていただいています。子どもたちはとても生き生きと活動しています。

また、学校農園での野菜栽培では、畑の整地やさつまいもの苗植え、収穫などを協力していただいています。収穫した野菜は、11月に開催される美並小フェスティバルの会食時に、けんちゃん汁の具材や大学芋となって参加者の笑顔に迎えられます。

ボランティア活動

「総合的な学習の時間」の活動では、美並地区に目を向けた活動があります。ごみ捨ての現状に心を痛めた子どもたちがごみ拾いを実施したり、看板を作って「ノ瀬川沿いに立てたりしました。また、福祉に取り組んだ学年は、学区内にある「サンシャインつくば」を訪問し、入所しているお年寄りの方とのふれ合いをしてきました。はじめはなかなか話すことができなかった子どもたちも次第に打ち解け、練習してきた出し物を発表して和やかな時間を過ごしました。

望ましい食習慣
の形成を図る

教育活動全体を通して、魅力ある楽しい食育を推進するとともに、保護者や児童の食に対する興味・関心を深め、望ましい食習慣を形成するよう取り組んでいます。

そのため、授業にはゲストティーチャーとして保護者にも入っていただいています。また、家庭の意識を高めるため、マスコットや給食便りの名前を公募したり、家

庭との連絡カードのやりとりをしたりしています。

虫歯のない児童も8割にのぼり、健康に対する意識も高まっています。

美並フェスティバル

学校の公開と地域、家庭、学校との交流の場とすることをねらいとして、例年11月に実施しています。授業参観のあとの親子会食、地域の方を講師に迎えての親子活動と楽しみいっぱい1日です。学区内の区長さんや敬老会の方々も招待しています。会食だけでなく活動に対しても楽しみにしていて、みなさんとても素敵な笑顔で1日を過ごされています。



美並フェスティバルの様子

文芸ひろば

俳句

青葉鯉ひらりと向きを変へにけり
燈台へ続く電線大南風
烈公の腰かけ石や夏燕
どこで道を違へて草いきれ
夕顔の宵闇押して咲きつぎぬ
手花火に集ひし中の人となり
本陣の庭ひそとして酔芙蓉
神主の連打で開ける祇園祭

短歌

暖かき陽射しにくらしのさま見せて満艦飾なる団地のベランダ
林床に落花と紛う花咲かせ芳香放つ観山童
苦界とは遠き昔の闇としてあつけらかんと笑ふ友だち
お酒よりお茶が良いとは下戸の言ふ左党にとりては嫌な相手よ
二千年の日本の土台を支へきし存在そのものの水田なるを
庭の草は見ぬ振りをして老いわれの晝寝きめこむ何はともあれ
陽の出前植へ終へし田をやはらかき光包みて静まりてをり

遠藤富重(下稲吉)
大西 周(稲吉東)
田中好子(下稲吉)
鳥海 力(下稲吉)
大塚敬三(有河)
小貫弘子(牛渡)
飯島ヒロエ(三ツ木)

松村久子(稲吉東)
飯沼礼子(上土田)
矢口三郎(稲吉東)
大塚隼人(新治)
石塚文子(牛渡下郷)
車田きみ(大和田)
小松崎正栄(戸崎)
福田宏通(御殿)